

加藤 明由 議員

無会派



問 既に始まった無駄なJR駅事業は

答 まちづくりは行政の責務

○JR弥富駅北口広場の基礎杭撤去について以下を問う。

問 地方自治法・地方財政法は遵守されているか。

答 (都市整備課長) 今後を判断し、問題ない。

問 旧庁舎の杭の総数は。

答 (建設部長) 612本。

問 駅北口広場もハツリ撤去が相当であったと考えるが。

答 (都市整備課長) 解体後の工事への影響を検討し、全て撤去。

問 JAあいち海部に支払った全撤去補償費と、ハツリ撤去費とどちらが安価か。

答 比較検討は行っていない。

問 杭撤去について十分な協議検討を行ったのか。

答 十分検討し、総合的に判断。

問 JR名鉄弥富駅自由通路橋上駅舎化事業で、膨大な税金が投入されるが市長の考えは。

答 (市長) 駅周辺のまちづくりに取り組むことは、行政の責務。

問 水路に2トンダンプ26台分の土砂を投入した理由は。

答 (産業振興課長) 底張りコンクリート下部の水道を止め、工事続行を可能にした。

問 土砂投入は誰の許可を得たのか。

答 孫宝排水土地改良区に承諾を得た。

問 一般市民が河川に土砂を投棄すれば違法行為であるが、市が行つと許される理由は。

答 法令違反ではなく問題ない。

問 副市長が積極的に関与したが、問題がないと考えるのか。

答 問題ない。

問 水の流れを阻害する行為は法令違反との認識は。

答 阻害されていない。

問 水門工事に要した総工費、当初予算予算及び追加工事費用の総額は。

答 総額、約3560万円。予定額、約3300万円。追加額、約260万円。

問 投棄した土砂は、いつ撤去するのか。

答 宝川流入部に敷きならしを行い、撤去の予定はない。

問 総括を。

答 (副市長) 水路を阻害するものではなく、浸水被害の解消、農業の水利用に大事な水門。重要な工事であり、必要な成果が得られた。

問 【その他の質問】「公開討論会と選挙戦略を考える」



▲杭撤去

問	水路に投棄された26台分の土砂は
答	工事続行を可能にし成果を得た



▲水路への土砂投入



▲水路清掃の様子